

ラグビー・トップリーグ決勝

三洋初王者

サントリーに逆転勝ち

4度目の正直で悲願



トップリーグを初制覇し喜びを爆発させる三洋電機フィフティーン＝東京・秩父宮ラグビー場

三洋、悲願の初V。ラグビー・トップリーグのプレーオフトーナメント決勝、三洋電機ワイルドナイツーサントリーサンゴ

リアスが30日、東京・秩父宮ラグビー場で行われ、三洋が28-23で下して、初のトップリーグ制覇を成し遂げた。

三洋は前半6-11とリードを許したが、後半7分、ロック劉永男(リウ・ユウナム)がトライを奪い、ゴールキックも決めて逆転。その後も2トライを加え、持ち前の強力ディフェンスが、サントリーの反撃を抑えた。

今季の三洋は昨季覇者・東芝との開幕戦から9連勝で首位を独走。しかし中盤に人が人が続出し、サントリーとトヨタに敗れてリーグ2位で、上位4チームによるプレーオフトーナメントに進んだ。トヨタとの再戦となった準決勝は主力選手が復帰し、今季加入したばかりのWTB山田章仁の活躍もあって32-10で快勝。決勝もサントリーを下し、立て続けにリーグ戦の雪辱を果たして頂点に立った。

三洋は現在、日本選手権3連覇中。その一方でトップリーグでは3年連続準優勝に終わり、苦杯をなめ続けてきた。4度目の正直でついに栄冠を勝ち取った。